

読んで!

見て!



なすから議会だより

第65号

令和4年8月10日



七合小学校運動会 (6月4日実施)

目次

令和4年第3回6月定例会のあらまし	P 2~3
令和4年第3回6月定例会の審議結果一覧	P 4
令和4年第3回6月定例会主な質疑	P 5
一般質問 (7人)	P 6~9
表彰	P 9
議会新体制がスタート!	P 10~11
特集・あとがき	P 12

- 編集・発行 那須烏山市議会広報委員会
- 問い合わせ 議会事務局 (☎0287-88-7114)



令和4年第3回 6月定例会のあらまし

那須烏山市議会6月定例会は7日に招集され、会期を8日間と定め、補正予算案や条例案など計10議案について審議しました。

また、陳情1件及び意見書案1件について審議し、8日から9日まで7人が一般質問を行いました。

会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

令和4年度予算を補正

令和4年度の補正予算案が上程され、一般会計を除きすべて原案のとおり可決しました。一般会計は一部修正のうえ可決されました。今回補正された歳出の主な内容は次のとおりです。

会計区分	補正前の額	6月補正予算額	合計
一般会計	111億6000万円	2億1821万9千円	113億7821万9千円
国民健康保険特別会計	32億7887万3千円	100万円	32億7987万3千円
後期高齢者医療特別会計	3億9604万2千円	37万5千円	3億9641万7千円
下水道事業特別会計	3億3145万6千円	8万3千円	3億3153万9千円
水道事業会計(資本的支出)	4億4547万9千円	1980万円	4億6527万9千円

一般会計の歳出の主な内容は、総務費は、ベンチャープラザ那須烏山を解体するための財産管理費4866万4千円、民生費として国の基準に該当する子育て世帯及びひとり親世帯に児童一人当たり5万円を給付するための子育て世帯生活支援特別給付金事業費1209万1千円、衛生費として、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種及び11歳以下への接種のための新型コロナウイルスワクチン追加接種体制確保事業費7091万円、農林水産業費として企業版ふるさと納税を実施する事業推進主体への交付金として農業振興費700万円、商工費として新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者への支援に係る費用として新型コロナウイルス対策商工業支援事業費4200万円、教育費として新型コロナウイルス感染症対策として、学校・給食センター・社会体育施設等へ、オゾン発生装置を配置する予算及び公民館講座「なすからサロン烏山学」の充実に係る予算等を591万2千円増額しました。

一般会計の歳入の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金6484万円や子育て世帯及びひとり親世帯給付金に係る補助金2643万1千円、現金による匿名の寄附及び企業版ふるさと応援寄附金700万円、不足財源の補てんとして計上した財政調整基金繰入金997万7千円及び市有施設整備基金繰入金4000万円、なすからサロン烏山学の実施に係る一般財団法人の助成金147万5千円などです。



2条例を改正

○市税条例等の一部改正

令和4年度の税制改正に伴い、地方税等の一部を改正する法律等が令和3年3月31日に公布されたことから、市民税や固定資産税、地方税法等の改正に伴う項ずれを改正するため、「市税条例」を一部改正しました。

○市国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部改正に伴い、基礎課税額に係る課税限度額を引き上げるため、「市国民健康保険税条例」を一部改正しました。

その他

令和3年度予算の一部を翌年度に繰り越しました。その主な内容は次のとおりです。

一般会計繰越明許費繰越計算書として、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費や認定こども園施設整備費等、計15事業2億686万3千円が繰り越されました。

一般会計継続費繰越計算書として、令和元年東日本台風により被災した下川井地区橋りよの復旧工事である農地・農業用施設災害復旧事業310万円が繰り越されました。

水道事業会計予算繰越計算書として、道路管理者である栃木県の工事が繰り越しになったことに合わせて、田野倉地内配水管布設替工事(その1)887万4千円が繰り越されました。

傍聴者数

6月定例会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
6月7日(火)	開会・上程・採決・付託	2人
6月8日(水)	一般質問	6人
6月9日(木)	一般質問	8人
6月16日(木)	上程・報告・採決・閉会	2人
計		18人



統廃合が予定されるつくし幼稚園

6月定例会において審査された請願・陳情

番 号	件 名	審査結果
陳情書第1号	一般財団法人那須烏山市農業公社の存続に関する陳情書	採 択

議会の動き

令和4年3月

31日 議会だより第64号発行

24日 市議会議員選挙

25日 市議選当選証書付与式

28日 議員初顔合わせ及び懇談会

10日 議員全員協議会

11日 第2回臨時会

31日 新人議員等研修会

11日 議会運営委員会

8日 議員全員協議会

7日 第3回6月定例会(16日まで)

8日 総務企画常任委員会

9日 議会広報委員会

9日 文教福祉常任委員会

16日 経済建設常任委員会

16日 議会運営委員会

14日 議員全員協議会

14日 議会広報委員会

19日 議会運営委員会

19日 議員全員協議会

19日 第4回臨時会

19日 庁舎整備検討特別委員会

19日 議会改革推進特別委員会

23日 J R 烏山線利用促進特別委員会

23日 「山あげ祭」開催期間の J R 烏山線利用客のお出迎え(24日まで)

令和4年第3回6月定例会の審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
報告第1号	令和3年度那須烏山市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	議案第5号	令和4年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
報告第2号	令和3年度那須烏山市一般会計繰越費繰越計算書について	報告	発議第1号	JR烏山線利用促進特別委員会の設置について	可決
報告第3号	令和3年度那須烏山市水道事業会計予算繰越計算書について	報告	発議第2号	議会改革推進特別委員会の設置について	可決
議案第6号	那須烏山市税条例等の一部改正について	可決	発議第3号	庁舎整備検討特別委員会の設置について	可決
議案第1号	令和4年度那須烏山市一般会計補正予算(第1号)について	修正可決	発議第4号	防災対策調査特別委員会の設置について	可決
議案第2号	令和4年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	報告第4号	特別委員会委員の選任について	報告
議案第3号	令和4年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	報告第5号	特別委員会委員長及び副委員長の報告について	報告
議案第4号	令和4年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決			

(起立による採決)

※掲載は採決順で渋井議長は表決に加わらない。 ○…賛成 ●…反対

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		高木洋一	福田長弘	荒井浩二	堀江清一	興野一美	青木敏久	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋井由放	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第7号	那須烏山市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第1号修正案	令和4年度那須烏山市一般会計補正予算(第1号)に対する修正案	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○

令和4年6月定例会の修正動議について

議案第1号那須烏山市一般会計補正予算2億3021万4千円について、清水川せせらぎ公園整備費に関連する予算1199万5千円を減額し、補正予算2億1821万9千円とする修正案を、議員2名が発議者として提出し賛成多数により可決されました。

減額した内容は、清水川せせらぎ公園内のトイレのバリアフリー化及び老朽化した遊具の更新に係る整備費で、令和4年4月1日に栃木県において「栃木県障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」が施行されたことに伴い、現状のトイレにスロープを設置しただけでは車いすの方が利用できるトイレにはならないことや、遊具は更新するだけでなく車いすの方も健常者の方と一緒に遊べる遊具にする必要があり、全ての市民が利用できる公園に改修すべきとの理由で提案されたものです。



清水川せせらぎ公園の遊具とトイレ

令和4年第3回

6月定例会の主な質疑



6月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

令和4年那須烏山市一般会計補正予算（第1号）

Q 議員 ベンチャープラザ那須烏山の解体事業費4866万4千円について、事業発注及び完了時期の予定と、その跡地をどのように利活用していくのか伺う。

A 総務課長 現在の入居団体は7月末退去を予定していることから、8月に入札の準備を始め、9月に契約をし、3月末までの解体完了を目指し進めたいと考えている。跡地の利活用については、庁内の委員会等でこれから精査していくため、現段階で明確な方針は出ていない。



ベンチャープラザ那須烏山

Q 議員 新型コロナウイルス対策商工業支援事業費4200万円の内容について伺う。

A 商工観光課長 3つの事業がある。1つ目は、那須烏山市版事業復活支援金で、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年11月から令和4年3月分の売上げが20%以上減少している事業者を対象に法人20万円、個人10万円を支

給するものである。2つ目は、個別支援会等事業費補助金で、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経営状況にある市内事業者向けに、商工会が行う個別支援会や各種セミナー等に関する経費を支援するものである。3つ目は、市内商工業活性化事業補助金で、交流人口の回復を目的に商工会が行うイベントや、これに呼応して市内商工業者が行う各種キャンペーン展開に係る経費の支援である。これら3つの事業費を合わせて4200万円を計上している。

令和4年那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

Q 議員 後期高齢者健診事業37万5千円について、後期高齢者の歯科健診を実施するという内容だが、国においては全国民対象の歯科健診を進めることが話題になっている。どのような事業を進めていくのか伺う。

A 市民課長 令和3年度に75歳となった380人を対象としている。県内でも後期高齢者で歯科健診を受けている方が少ないということで、対象者380人の20%分の予算を計上した。

A 市長 この20%という数字は、歯科のかかりつけ医を持たない方々に、新たに歯科に興味を持っていただくために設定した。集団検診ではなく、個別に歯科医院に通っていただくことを奨励するための事業である。

令和4年第2回

5月臨時会の結果

5月10日(火)に招集され、市長から提出された議案は全て全会一致で承認しました。その議案は右記のとおりです。

議会の人事は、10ページに掲載しています。

議案等		審議結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度那須烏山市一般会計補正予算（第11号）について）	承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて（那須烏山市税条例等の一部改正について）	承認
議案第3号	副市長の選任同意について	同意
議案第4号	監査委員の選任同意について	同意



稽古照今

滝口 貴史 議員

- ①子育て環境について
- ②スクールバスについて
- ③スポーツ施設の整備等について

子育て環境について

Q 認定こども園の整備について、現在の進捗状況と今後の方針について伺う。

A 市長 認定こども園については、浸水想定区域内に立地するにこにこ保育園を安全な場所に移転する必要があることから、老朽化が進行しているつくし幼稚園との新築統合を進めるという方針の下、準備を進めている。

現在の進捗状況としては、今年5月に公募型プロポーザル審査会を開催し、設計業務委託業者を決定した。今後は、基本設計及び実施設計に着手し、建設工事は令和5年度から6年度にかけて実施する予定である。施設の開園時期は、建設工事の進捗を踏まえつつ、関係機関や保護者の方々と調整しながら検討する。

スポーツ施設の整備等について

Q 「那須烏山市都市計画マスタープラン」(平成20年3月策定)において、「南那須地区市街地において、中心的な文化・スポーツ等の拠点配置の検討」とあった。策定から14年経ったが現在の状況を伺う。

A 市長 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の再編・再整備を進める中で、今後のスポーツ施設の整備においては、スポーツ施設単体で考えるのではなく、10年、さらにその先の将来を見据え、市全体としてのまちづくりのランドデザインを描き、他の公共施設全体についての議論の中で、検討していく必要があると考えている。



議会活動に情熱を燃やしております。

中山 五男 議員

- ①新庁舎建設の時期と場所について
- ②那須南病院の整備に要する市の負担金について
- ③衛生センター建設に要する市の負担金について
- ④下境・宮原両地区住民の集団移転計画と市の負担金について
- ⑤認定こども園の建設計画について

新庁舎建設の時期と場所について

Q 市長は、2期目当選後の初議会において「本庁舎整備に全力を尽くす」と発言していた。令和4年度当初予算の中にはそれを裏付ける事業費が見当たらないが、総合政策課内に新たに庁舎整備推進室を設けられたことは、市長の並々ならぬ覚悟があつてのことと受け止めている。市長が望む新庁舎建設の時期と建設場所について伺う。

A 市長 庁舎整備は市庁舎整備等検討委員会や市議会の意見を踏まえ、丁寧な議論と手続きをもって、着実に成し遂げる必要がある。さらに、庁舎の必要性について、市民の理解や合意形成が重要であると考えている。

建設場所は市有地を中心に、今年度1年間をかけた検討する。建設時期に明確な期限を設けないので、じっくりかつ着実に検討したい。

下境・宮原両地区住民の集団移転計画と市の負担金について

Q 令和元年東日本台風により被災した下境・宮原両地区の「防災集団移転促進事業」は、いまだ実施計画すら策定されていない。国土交通省が定める移転に係る補助限度額は、1世帯あたり1655万円であることから、それを超えれば移転者本人または事業主体になる本市が負担する。実施計画をいつまでに策定し、住民に説明するのか。また市の負担見込み額について伺う。

A 市長 防災集団移転促進事業は今年度実施計画の策定に着手し、地域住民との合意に向けた協議に入る。事業費の算出も並行するため、現段階で市の負担金は算出できない。なお、市の負担が多額になっては事業実施が難しくなるのでそうならないよう国や県に要望していく。



初心にかえって
頑張ります。

平塚 英教 議員

緊急経済対策について

Q 急激な物価高騰やコロナ禍の中で、景気悪化が深刻である。市民生活を守る緊急経済対策を市内関係機関及び団体と総力を挙げた取組が求められている。本市としてこの状況をどのように受け止めているか伺う。

A 市長 現在、新型コロナウイルス感染症に加え、急激な原油価格や物価の高騰に直面しており、市民生活を守る緊急経済対策は必須と考えている。令和3年度は約2億円の新型コロナウイルス対策に係る地方創生臨時交付金の交付があり、令和4年度も新型コロナウイルス対策、原油高騰対策、経済対策として約3億円の交付金配分が示されており、これらを財源として市民生活を守る取組を進める予定である。当初予算において、給食費及び副食費への支援、6月補正予算においても中小法人や個人事業者等

- ①緊急経済対策について
- ②公共施設等総合管理計画について
- ③指定管理者制度について
- ④補聴器購入の助成措置について
- ⑤那珂川緊急治水対策プロジェクトについて

への事業継続支援を計上しており、今後も市民生活を守る対策を検討してまいりたい。

Q 生活困窮者に対する対策強化についても伺いたい。

A 総合政策課長 本市の緊急経済対策は国・県の施策に基づいて27の事業を各課で調整して進めている。生活困窮者への支援、雇用の維持、雇用機会の確保は必須と考えており、さらに各課と連携して取組んでまいりたい。



物価高騰により値上がりした食品



お薦めの一冊
『黛家の兄弟』
(砂原浩太郎)

青木 敏久 議員

コブシリボン（陽口リボン）プロジェクトの企画及びペップトークの活用について

Q 新型コロナウイルス感染症は、新しいフェーズに入ると予見される。コロナ禍で生まれた誹謗中傷などの陰口の対義語としての陽口がある。春の訪れを告げる市の花「こぶし」を模したコブシリボン(陽口リボン)プロジェクトの企画について提案する。

A 市長 本市の活性化に向けた有効な提案の1つとして受け取りたい。

Q 2月22日は本市の「こころを元気にする日」であるが、本プロジェクトを活用してはどうか。

A 健康福祉課長 コロナ禍にあってとても明るく前向きになれるような提案である。心を元気にするということについて、課内でよく調整をさせていただきたい。

- ①コブシリボン(陽口リボン)プロジェクトの企画及びペップトークの活用について
- ②保育士支援事業の拡充について
- ③HPVワクチン接種の取り組みについて

保育士支援事業の拡充について

Q 本市の豊かな自然に加えて、子供を産んでも安心でき、子育てがしやすいことは、未来を担う若者が、本市に根を下ろしていくことにつながる。その際、必要になる保育士等の人材確保及び保育士支援事業の拡充について伺う。

A 市長 とちぎ保育士・保育所支援センターが執り行う支援事業等の活用により、保育士等の確保対策に努めてまいりたい。

Q 新規採用保育士特別給付金や宿舍借り上げ支援事業など、セットで拡充していく考えはあるか。

A こども課長 過年度の保育士等就業奨励金、潜在保育士等就労準備金は成果が得られなかった。新規保育士が、本市の保育施設に就職した際の給付金については、検討を加えながら進めていきたい。



信頼と誠実さで
議員活動したい！

小堀 道和 議員

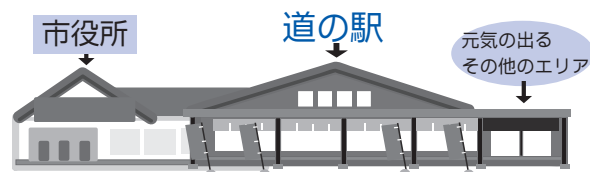
①未来に夢が広がるワクワクドキドキのまちづくりについて

未来に夢が広がるワクワクドキドキのまちづくりについて

Q 今回の市議選をとおして市民の生の声を聞き、わがまちの重要課題に対して今まで以上に力を注がねばならない点が何点もあった。どの難課題に対しても、一番の問題は未来に夢が広がる市民が期待し応援したくなるワクワクドキドキする志の高いビジョンがないことが原因と考えた。新庁舎建設に関しても単なる箱物的庁舎を建設する夢の無い計画ではなく、例えば、様々な店舗進出や本市の地場産業の開発拠点など可能性がふくらむ道の駅を建設し、その付録として新庁舎が併設されているというような、未来に夢が広がるワクワクドキドキの計画にすべきと思うが見解を伺う。

A 市長 庁舎整備については必要性について十分な共通認識に立てていないことが進展

につながらない大きな要因であると考えている。庁舎はまちづくりの拠点としての役割があり、未来に夢が広がるワクワクドキドキの施設機能も必要と感じているが、市民の安全安心を守る防災拠点としての機能も併せ、持つ必要があり、ほかの公共施設との統合、再配置等を併せ、一体的に検討することが必要である。道の駅と庁舎の一体案は用地確保も大変で、今までと違う案なので再検討させていただく。今年度から新たに設置した庁舎整備推進室を中心に各関係課との連携強化を図り、丁寧に市民との合意形成を図りながら進めていきたい。



未来に夢が広がるワクワクドキドキのまちづくり
市民の声「庁舎よりまちの活性化」の具体案



常に市民目線で行動!!

堀江 清一 議員

①市役所の窓口業務について ②防災行政無線整備の進捗状況について

市役所の窓口業務について

Q 確定申告書や税の証明は烏山庁舎のみで業務が行われている。この状態は今後、継続するのか伺う。

A 市長 確定申告や税の証明は烏山庁舎で一本化している。苦情はそんなに多く無かったので継続している。行政手続きのオンライン化や公共料金のキャッシュレス化を進め市民生活の利便性向上に努める。

Q さくら市や那珂川町は確定申告や税証明の発行は旧両町にある庁舎で行われている。那須烏山市はなぜ、出来ないのか。

A 市長 南那須庁舎でも出来ないわけではない。今のところ烏山庁舎でのみで行われている。両地区でも実施してほしいという要望が多い場合は、もう少し聞き取りさせていただきたいと考えている。

防災行政無線整備の進捗状況について

Q 防災行政無線について、具体的に方針が決まったのかどうか、進捗状況について伺う。

A 市長 市としては、今後の防災行政無線の整備方針検討に向けた情報収集のため、行政区長及び無作為抽出による市内3000世帯を対象に、市民への現状調査を実施する。

Q 市長の口から防災行政無線を設置するという言葉を聞きたい、防災行政無線を設置すると言っていたきたい。

A 市長 議会で質問がある度に、毎回、私は設置するとお答えしている。一度も否定はしていない。



大豊作！
ミニトマト♡

矢板 清枝 議員

- ①物価高騰等にかかる学校給食対策について
- ②デジタル田園都市国家構想に関する取り組みの推進について
- ③那須烏山市内の土砂搬入について

物価高騰等にかかる学校給食対策について

Q 新型コロナウイルス感染症の長期化やウクライナ危機により原材料価格が高騰し、食材費等の値上がりが一層懸念される。学校給食の食材調達の現状と今後の見通しについて伺う。

A 教育長 学校給食の食材調達については、地元業者をはじめ、J A及び近隣市町の業者に発注し、パンや米飯、牛乳等の基本物資の調達及び大量に使用する食材等は、栃木県学校給食会に発注している。給食費は、合併した平成17年以降、消費税増税後も据え置いたままで運用していたが、原油価格、物価高騰により、児童生徒に良質な栄養価を維持していくことが困難な状況となっている。また、令和2年度から夏季休業が4日短くなり、学校給食の提供日が増加したことで、令和4年度の給食費から月額300円の値上げをした。さらなる値上げは保護

者の経済的な負担にもつながるので、状況をよく精査しながら慎重に検討していく。

Q 今年4月に、内閣府から出された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱について」に「学校給食等に関する負担軽減」という項目が追加された。物価高騰による給食費値上げを抑えるため、地方創生臨時交付金を本市も活用すべきと思うが、市の考えを伺う。

A 教育長 保護者の経済的負担を軽減するため、令和3年9月からの給食費を、地方創生臨時交付金を活用して児童生徒1人当たり月額2000円の軽減を実施している。しかし、こうした状況が続くことにより、家計負担の増加が懸念される。今後は給食の質や量を確保するため、補助金の形で食材購入費の増額をしていく必要があると考えている。

表彰

長年にわたり、地方自治の振興と発展のために尽力された功績により、高田悦男議員が栃木県地方自治功労者表彰を受賞しました。

また、5月に東京国際フォーラムで開催された第98回全国市議会議長会の定期総会において、久保居前議長及び渋井議長が令和3年度に地方行政委員会委員を務めた功績により全国市議会議長会から感謝状が贈呈されました。



感謝状を受け取る渋井議長

ホームページで
一般質問の録画映像を配信しています。

那須烏山市議会 映像

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。傍聴を希望される方は市役所南那須庁舎3階までお越しください。

議会の日程等については、気軽に議会事務局にお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

**次回の9月定例会は、
9月6日(火) 開会予定です。**

正式な日程は8月30日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会新体制がスタート！

令和4年4月24日に執行された市議会議員選挙において16名の議員が選出され、5月10日に開催された第2回5月臨時会において市議会の新体制が次のとおり決定しました。

(◎は委員長、○は副委員長)

議長 渋井由放 副議長 青木敏久

◇議会運営委員会

- ◎中山五男 ○平塚英教 ・福田長弘
- ・矢板清枝 ・滝口貴史 ・小堀道和
- ・高田悦男

◇議会広報委員会

- ◎小堀道和 ○荒井浩二 ・高木洋一
- ・福田長弘 ・堀江清一 ・興野一美
- ・青木敏久 ・相馬正典

◇南那須地区広域行政事務組合議員

- ・荒井浩二 ・興野一美 ・渋井由放
- ・沼田邦彦 ・中山五男 ・平塚英教

◇監査委員（議会選出）

- ・相馬正典

各常任委員会の所属課等

総務企画常任委員会

総合政策課、まちづくり課、総務課
 税務課、会計課、議会事務局、監査委員
 選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会

文教福祉常任委員会

市民課、健康福祉課、こども課
 学校教育課、生涯学習課

経済建設常任委員会

農政課、商工観光課、都市建設課
 上下水道課、農業委員会



総務企画常任委員会

青木敏久委員 平塚英教委員
 渋井由放委員 滝口貴史委員長 堀江清一副委員長



文教福祉常任委員会

沼田邦彦委員 田島信二委員 相馬正典委員
 中山五男委員 福田長弘委員長 高木洋一副委員長



経済建設常任委員会

荒井浩二委員 小堀道和委員
 高田悦男委員 矢板清枝委員長 興野一美副委員長

また、第3回6月定例会において、新たに特別委員会を設置しました。

◇JR烏山線利用促進特別委員会（8名）

設置の目的：JR烏山線利用促進に関する調査研究のため

◎興野一美 ○高木洋一

・堀江清一 ・青木敏久 ・渋井由放 ・沼田邦彦 ・高田悦男 ・平塚英教

◇議会改革推進特別委員会（8名）

設置の目的：議会改革推進に関する調査研究のため

◎中山五男 ○荒井浩二

・福田長弘 ・矢板清枝 ・滝口貴史 ・小堀道和 ・相馬正典 ・田島信二

◇庁舎整備検討特別委員会（16名全員）

設置の目的：庁舎整備に関する調査研究のため

◎高田悦男 ○田島信二

◇防災対策調査特別委員会（16名全員）

設置の目的：防災・減災に関する調査研究のため

◎堀江清一 ○平塚英教



JR烏山線利用促進特別委員会による
山あげ祭観光客のお出迎え

議長挨拶

すべての議員の皆様のご御推挙を頂き、令和4年5月10日に開催された臨時会において引き続き第12代議長に就任させていただきました。身に余る光栄であり、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。

当市の直面する課題は多岐に渡っています。新型コロナウイルス感染症対策は勿論のこと、人口減少に伴い行政機能を維持していくことが困難になる恐れがあり、これらの対策は最優先の課題です。また、新庁舎整備をはじめとする公共施設の再編や災害対策としての集団移転も重要課題です。

議決機関として市民目線に立ち、執行機関に対し予算の審査や政策提言等を行い、市民の皆様への負託に応えられる議会を目指します。さらに、議会改革を進め、市民の皆様に関心をもっていただける開かれた議会を目指します。

議会一丸となって執行機関と共に知見を集め、衆議を重ねて、この難局に取り組んでまいりますので、市民の皆様には、今後とも御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。議長就任の御挨拶とさせていただきます。

第12代議長 渋井 由放



特集

大木須にて市内外の方々と交流しながら里山の恵みを活かした地域活性化に取り組んでいる、一般社団法人「里山大木須を愛する会」理事兼事務局の大貫いさ子さんにお話を伺った。

始まりは平成23年、宇都宮大学の特任研究員として、里山の住人と共にその環境と資源を活かした地域活性化を図るための調査として大木須がモデル地域に選ばれ、その担当者となったことがきっかけ。その後もその成果を還元すべく、大木須地区と関わり続けている。

「ほたるの里の古民家おおぎす」を中心としながら、自然体験村たるべく活動を多岐に広げ、里山の再生と持続可能性を模索している。近年、宇都宮大学の野外調査・実習の場として選ばれたこともあり、学生と協力し合いながら学生の自主的な学びをサポートし、今年は学生サークル主体でほたるを鑑賞するイベント「ほたるの夕べ」

那須烏山市を拠点に
素敵な活動をしている方を紹介！



が開催された。また、研究の成果発表などから、^{はつらつ}澆刺とした若者のアイデアから刺激を受けつつ交流が深まっているという。自分たちが楽しむことを忘れずに、多種多様な人々を巻き込みながら“大木須コミュニティ”を形成していくための構想を語るその目は、愛する里山の自然と未来を見据えていた。(文責 荒井浩二 議員)



一般社団法人「里山大木須を愛する会」
理事兼事務局 大貫いさ子氏

議会だよりが リニューアルしました

市民に開かれた親しみやすい議会を目指し、今号から議会だよりをリニューアルしました。

- タイトルが「那須烏山市議会だより」から、「読んで！見て！なすから議会だより」になりました。
 - タブロイド判からA4冊子に変更し、読みやすいレイアウトにしました。
 - ページ数を増やし、議案の内容や会議の結果を詳しく掲載します。
 - 配付方法を新聞折込から自治会文書配付に変更し、併せて、コンビニやスーパーでも手に取ることができるようになりました。
- ※なお、電子版は引き続きホームページから閲覧することができます。

議会広報誌にご意見・ご要望がある方は、議会事務局 (TEL 0287-88-7114) までお問い合わせください。

あとがき



コロナ禍の中での市議会議員選挙後、初めての定例会が終了した。各議員は初心に帰り我がまちを活力溢れるまちにしたいとの思いで活動を開始した。令和2年1月に日本で発症して以来2年半経過したが、未だに収束しない状態が続いている。各種イベントも中止や規模縮小を余儀なくされ経済活動にも打撃を与え続けている。一日でも早い収束を願うばかりである。

一方、コロナ禍回避のためインターネットを駆使した在宅勤務や通販、学校でのオンライン授業などは大きく進展した。とりわけAI(人工知能)の活用には目を見張るものがある。最大の関心事はAIロボットが人間の感情を超えるかである。自意識などの感情に加え相手への同情などを活用する能力がないと、深い理解や思考により対応できるAIロボット誕生は困難と専門家が述べている。やはり人間に贈られた本物の誠実さや信頼関係を大切にしたい議員活動に邁進したい。(小堀 道和 議員)